健康知恵袋

大切な子どもの健康を守るために

子どもがかかりやすい病気の中で、もっとも多いのが感染症です。その感染症から子どもを守るための有効な手段は、予防接種をすることです。

◆病気にかからなくする

予防接種を受けると、将来にわたってその病気にかからないようにすることができます。また、万が一に感染した場合にも、重症化を防ぐことができます。

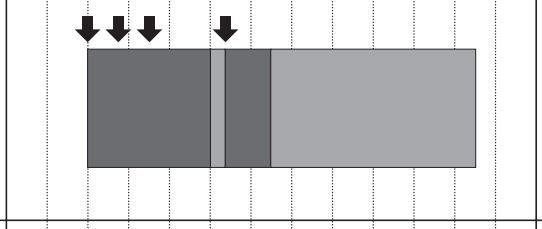
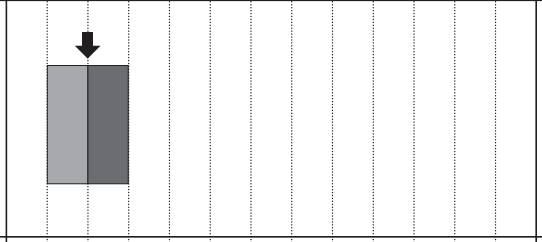
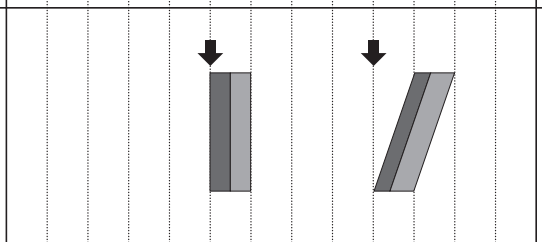
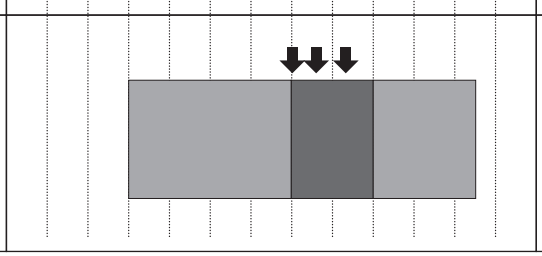
◆社会全体を守る

病気にかかると、本人だけでなく、他の人にうつしてしまうかもしれません。それは国内だけでなく、海外にも影響を及ぼすこととなります。社会全体を病気の被害から守るとともに、国際的な責任を果たすためにも予防接種は必要だといえます。

○お問い合わせ
本庁 健康福祉課 保健衛生係 ☎43―2836（直通）
佐賀支所 地域住民課 保健センター ☎55―7373（直通）

定期予防接種の種類と接種時期のめやす

↓ 接種の回数　■ 標準的な接種年齢　■ 接種が定められている年齢

種類		予防する病気	出生時 3カ月 6カ月 9カ月 1歳 2歳 3歳 4歳 5歳 6歳 7歳 8歳	副反応	備考
定期接種	4種混合	●ジフテリア ●百日咳 ●破傷風 ●ポリオ		• 接種したところが赤く腫れる、しこりができる。 • 発熱することがある。	• 平成24年11月から導入開始。 • 3種混合ワクチンとポリオワクチンを1度も受けていない場合は、原則として4種混合ワクチンを接種します。
	BCG	●結核		接種したところに赤いポツポツができたり、膿を持ったりすることがある。	• 接種期間が短いので、早めに受けるようにしましょう。 • やむを得ない事情に限り、1歳に達するまでの期間に接種することができます。
	麻しん・風しん混合（MR）	●麻しん（はしか） ●風しん		• 発熱することがある。 • 発しんがでることがある。	• 1歳になったらできるだけ早めに受けるようにしましょう。 • 小学校入学前1年間に2回目のワクチンを忘れないようにしましょう。
	日本脳炎	●日本脳炎		• 接種したところが赤く腫れることがある。 • 発熱することがある。	日本脳炎ウイルスを運ぶ蚊に刺されることで感染します。

●ここでは8歳未満の子が受ける予防接種を取り上げています。
○任意接種ワクチンのなかでも市町村で補助しているものもあります。対象者には個別に通知します。

◆麻しん・風しんワクチンの第3期・第4期は3月で終了します！

まだ麻しん・風しんの予防接種を2回受けていない第3期（中学1年）・第4期（高校3年）対象のお子さんは、かかりつけ医と相談し、**平成25年3月31日**までに受けましょう。